

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和2年6月30日（火）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	TBG（サイロキシン結合グロブリン）
検査コード	2401
JLAC10	4B045-0000-023-052-01
診療行為コード	160034310
検体量	血清 0.3mL
保存・容器	必凍・A1→A2
実施料（判断料）	130点（生化Ⅱ）
所要日数	2～8日
検査方法	CLEIA法
基準値	14.0～31.0 $\mu\text{g}/\text{mL}$
実施部署	LSIメディエンス

保険収載名称：サイロキシン結合グロブリン（TBG）

《解説》

TBG（サイロキシン結合グロブリン）は糖蛋白であり、主に肝で合成され血中半減期が約5日の甲状腺ホルモン輸送蛋白です。血中では甲状腺ホルモンの70%以上がTBGと結合しており、 T_4 で0.03%、 T_3 で0.3%が遊離型として存在しています。 T_4 値が異常である場合は、TBGの過剰または不足が疑われます。

新生児から思春期頃までは高めで、以降は減少し中年頃まで低値を保ちます。成人では、更年期前の女性に比べて男性の方が低値を示し、妊婦では高値を示します。

《備考》

TBG（サイロキシン結合グロブリン）《RIA法》（2398）につきましては、令和2年6月29日（月）（沖縄地区：令和2年6月27日（土））受付日をもって検査受託を中止させていただきます。